

高鈴山山行報告

【山行日】2023年2月5日(日) 晴れ
【集合】鹿窪運動公園P AM 6:00
【費用】マイカー2台 : 2,100円
【メンバー】CL:鈴木、SL:大西

青柳、飯口、植竹、大塚、島田、関、
津佐、福島、藤原、渡辺

【コースタイム】鹿窪運動公園 P6:00=御岩神社
P7:20/7:30=向陽台 P7:40/7:50~御岩山 8:30~
高鈴山 9:10/9:30~御岩山 10:00~向陽台
P10:30/10:45=日立おさかなセンター
11:15/12:15=道の駅「グランテラス筑西」13:15/13:35=鹿窪運動公園 P14:00

毎年この時季に茨城県の山を計画するが、今年はパワースポット御岩神社から高鈴山を登る計画を立てた。御岩神社の創建時期は不明だが、縄文晩期の祭祀遺跡の発掘や、『常陸国風土記』



の記載などから、古代より信仰の場所であった事がうかがえる。そんな御岩神社を楽しんでいたが、駐車場に着き出発の準備をしていると神社の方が来て「神社から御岩山への登山道は、残雪が多く登山禁止になっています。」と言われた。仕方なく御岩神社からの登山は諦め、向陽台から登ることに変更し向陽台駐車場に向かう。御岩神社を参拝してからと思ったが、日立おさかなセンターでの昼食が有るので急いで向陽台に向かう。向陽台駐車場に着くと、すでに何台もの車が止まっており

我々も空いているスペースに車を止める。皆さん準備は済ませてあるので、ストレッチを行なったらすぐに出発する。駐車場南側の道路を登って行き、突き当たった所を右に進むと登山口になる。登山口にはトイレが設置されていたが、冬季はカギがかけられ使用不可となっていた。すぐ先から登山道に入り、稜線を巻くように付けられた道を登って行く。緩やかな登りなので、皆さんの会話が弾み賑やかに登って行く。492mのピークで小休止し、衣服調整と水分補給を行った。ここから一旦下り御岩神社からの道を合わせ、御岩山への登りになると雪が残っていた。圧雪で凍っていて滑りやすいが、土や石がまだらに露出しているのので、雪を避けて土や石に靴を置けば問題なく登れる。



御岩山への分岐でSLが巻道を行こうとするので待ったをかけ、「ここは御岩山に登るでしょう！」と右の急坂を登って山頂に向かう。ほんのひと登りで山頂に着き、西側が開けて展望を楽しむ。



ここから尾根通しに進む道もあるが、左に下って巻道を進む。すぐ先で尾根道と合さり、尾根上に出ると前方に高鈴山が見えるようになる。アセビなどの自然林の明るい尾根道を進むと道路に出て、右に道路をほんの少し登ると大きなアンテナが建つ高鈴山山頂に出る。山頂にはトイレや展望デッキがあり、北側の大展望を楽しむことができる。記念写真を撮ったらベンチで休憩し、皆さんが持ち寄ったおやつが沢山出てコーヒーやお茶をいただいた。ティータイムを楽しんだら下山開始し、往路を下って向陽台に向かう。残雪の箇所は下りになるので滑りやすく、皆さんオットットを繰り返していた。皆さん転ぶことなく無事に下り、向陽台駐車場に下山した。

靴を履き替えて車に乗り、日立おさかなセンターに向かう。日立おさかなセンターの駐車場に着くと満車で、ようやく駐車スペースを見つけ車を止める。早速市場内に入り、味勝手丼の列に並んで順番を待つ。味勝手丼は自分の好みの海鮮具材を選んでご飯に乗せ、自分だけのオリジナル海鮮丼を楽しむことができる。皆さん自分が好きな海鮮を選び、自分が食べられる量のご飯をオーダーしてテーブルに移動する。丁度3つのテーブルが空いていたので確保し、4人ずつ座って美味しくいただけた。皆さん好きな物を好きなだけ食べられ、満足そうに食べていた。ランチが済んだら市場でお買い物だが、コロナで水産業者が撤退しあまり買いたいものが見当たらない。アジのたたきとヒラメのお刺身をゲットし、おさかなセンターを後にして鹿窪運動公園へ向かう。途中、道の駅「グランテラス筑西」に寄って買い物とトイレを済ませ、予定より早く鹿窪運動公園に帰着した。